

平成25年10月届出分を掲載(希望者のみ)

おたんじょう

- 田中 芽生^{めい}樺^かちゃん (紫孝・莉栄) 南町
 九谷 陽^{はると}大^とくん (大樹・亜希子) 南町
 逢坂 月^{るあ}愛^あちゃん (誠・貴子) 幸町
 岡田 菜^{かな}奈^なちゃん (研二・直美) 栄町

ごけっこん

- 藤田 俊悟^{しんご}さん 中原 枝里子^{えりこ}さん 南5の5
 尾崎 寿幸^{しゅんけい}さん 柴田 かな子^{かなこ}さん 北4の2
 佐藤 圭^{けい}さん 福田 梨奈^{りな}さん 栄町

おくやみ

- 中井 和子^{わこ}さん 68歳 南3の1
 吉岡 カズエ^{かずえ}さん 77歳 南6の4
 及川 正幸^{まさゆき}さん 80歳 北町
 齊藤 キミ^{きみ}さん 84歳 北4の2
 山下 竹松^{たけまつ}さん 88歳 栄町
 川端 はるゑ^{はるゑ}さん 102歳 栄町
 金澤 英夫^{ひでお}さん 85歳 焼尻

人口と世帯数(10月末)

人 口	7,739 人	(- 11)
男	3,690 人	(- 7)
女	4,049 人	(- 4)
世帯数	3,782 世帯	(- 7)

() は前月比

編集後記

先月、中学校の文化祭へおじゃましました。3年生にとつては最後の文化祭とても盛り上がりつつありました。部活動も後輩たちへバトンを渡し、思い出に残る事業も一つずつ終わって残るは卒業式。これから大切な時期に入る3年生には、今やらなければならぬ事、そしてやりたい事を夢中になって取り組んでもらいたいです。(K)



羽幌オロロン太鼓の会
 顧問 太田 建成^{たけなり}さん(69才・幸町)
 父母会 桜井 学^{まなぶ}さん(36才・南7の5)

泥くさく、力強く叩く 世代を超えて継承される オロロン太鼓の心と伝統

「当時、羽幌炭砒が閉山して間もなく町全体が元気がなくなってしまうていて、なにか元気づけるようなことができないかということ、最初は商工会から盆踊り用の太鼓を借りて3つか4つの太鼓と6人の仲間ですタートしたんだよね」と語ってくれたのは、会の立ち上げ時の一人で、現在オロロン太鼓の顧問を務めている太田さん。演奏曲の作曲も行い、その曲は今でも受け継がれ演奏されています。そのオロロン太鼓の会も今年で40周年を迎えました。「40年間、会を続けてこれたのは、育成指導をする人たちが、打ち手として伝統である泥くさく、力強い打ち方の基本を守り受け継いでくれている若い人たちがいたからです。そして、なによりオロロン太鼓の会最大の理解者、支援者である角谷修夫会長をはじめとする後援会のみなさんに本当に感謝しています。」と40周年を迎え思うところを話してくれました。

「今ではどこの団体でもやっている所作(振り)はなく、派手には見えないけれどしっかり打つ演奏は他にはあまりないです。」と話してくれたのは、現在打ち手として伝統を継承し会を支えている桜井さん。オロロン太鼓ジュニアの父母会として子どもたちの育成指導も頑張っています。

「泥くさく、力強く叩く。昔からのオロロン太鼓の叩き方をきちんと守ってやっていくというのがオロロン太鼓の原点であり、これからもずっと守っていくつもりです。子どもたちには、他の団体を見ると派手に見えるかもしれないけど、オロロン太鼓はこうだっという伝統を教え続けていきたいです。」

打ち手として、指導者として会を支え続けてきた太田さん、それを引き継ぎ、伝統を子どもたちへ繋いでいく桜井さん。オロロン太鼓の精神や伝統はこれからも引き継がれていきます。

